

武蔵村山市 ボランティア・市民活動センター
市民力アップを目指す広報紙
No.6 (通巻109号) 2015. 2.20

Collabo-ba

■コラボ・バ■



【Contents】

◆協働かわらばん

◆Voice一声

◆知っ得コーナー 講座案内

◆センターからのお知らせ

個人ボランティア登録用紙入り (4頁参照)

協働のまち

【子育てサポートプロジェクト】

団体名
いつひよファミリー
～with 石田倫依～



担当課
保育課

育児に関するノウハウの提供と育児相談などを行い、子育ての楽しさ、すばらしさを伝える。次世代を担う子どもたちの健全育成を行うための土台をつくり、地域一体となった「子育てしやすい武蔵村山市」をつくっていくために「親子コミュニティ広場」や地域に合わせた音楽やアートなどの「ワークショップ」を開催。



▲さいかち公園で開催された青空広場。大勢の子どもたちで賑わいました。

【小学生への花育と豊かな環境作り】

団体名
グラシオス
プラント パートナー



団体育成型

各小学校に花苗を届け、苗の選び方、植え方、育て方、メンテナンスなどを指導。学校を花や緑で癒される空間にすると同時に、子どもたちに「花を育てる楽しみ」と「植物の大切さ」を学んでもらう。

将来を担う子どもたちが、花と緑に触れ合う「花育」を通して、大人になってからも環境を大切にすることが育まれ、やがては、まちづくりに興味を持てるようになることを目指す。



▲元気に育ての願いを込めて植えます。

「協働事業」とは、市民活動団体の専門性や柔軟性とともに、地域の課題の解決につなげ、暮らしやすい社会な形の協働が行われ、武蔵村山市でも平成 23 年度から協働事業の事例を紹介します。

【こまのたけちゃんと遊ぼう】

団体名
NPO 法人むさし
むらやま子ども劇場



担当課
文化振興課

放課後子ども教室が実施されている小学校で、昔遊びの「こま回し」と「けん玉」を、プロのパフォーマーの指導を受け練習し、子どもたちが学校で学ぶものとは別の「得意」を身につけ、他者に認められ、達成感や自己肯定感をもつ「ちびっ子名人」を育成する。また、異年齢集団の遊びの中で、コミュニケーション能力や基本的ルールを学ぶことは、子どもたちの生きる力の養成にもつながる。



▲子どもたちの質問攻めにあう、パフォーマーの「こまのたけちゃん」

現在進行中！

変わるのは
ここ！

・平成 27 年度から変わる・

新たな「協働事業」

平成 27 年 5 月 ボランティア・市民活動セン
6 月 提案団体・ボランティア市民
4 者による協働に向けての具

7 月 提案書の提出

8 月 書類審査（第一次審査）

10 月 公開プレゼンテーション（第

平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月 事業の実施

事例紹介

活かした事業により、市制への市民参加を促進する会の形成を目指そうとするものです。全国では様々始まっています。今回は市内と市外で行われている

【ママインターン】

団体名

NPO 法人
Arrow Arrow



国分寺市

妊娠・出産・介護などを機に離職したが、地域社会とつながりたいと考えている女性を対象とし、場所を変えて3期5回にわたって実施。
仕事と子育ての両立を実現している女性の話を聴き、働き方への選択肢を広げるため、学びの講座を市内の企業やNPO 法人が実際に抱えている課題をケーススタディとした実践型ワークショップ、また市内企業やNPO 法人で職場体験（半日程度予定）などを行う。

参加者が地域や人とつながり「自分らしい」働き方を模索し、再び働くことへの様々な不安を緩和し自信を取り戻すきっかけとする。



【港南台中央公園プレイパーク事業】

団体名

港南台中央公園プレイパーク管理運営委員会



横浜市

プレイパークとは、「禁止事項を設けず、自分の責任で自由に遊ぶことのできる遊び場」のことである。月に4回、公園の一部を「港南台生き生きプレイパーク」として開放し、子どもたちの居場所・育ちの場として活用し、遊具や道具などの安全点検や扱い方に関しては、地域の大人たちが協力して心を配っている。
※横浜市のプレイパークは、2013年7月現在、市内21か所で開催。
※その他、江東区・相模原市・逗子市・狛江市など、全国的に展開されている。



提案制度の流れ

ターと事業組み立ての相談、事業案を提出
活動センター・協働推進課・市の担当課、
体的内容の話し合い

二次審査)

ボランティア登録 してみませんか !!

登録からボランティアまで

今号の『コラボ・バ』には、新しい様式となった「ボランティア登録用紙」を挟み込んであります。この用紙に必要事項を記入（裏面の記入例を参考）のうえ、ボランティア・市民活動センターへお持ちください。同時に 300 円からのボランティア保険にも加入できます。

登録後、実際にボランティアの依頼が入った段階で、登録内容に基づいてご連絡します。日程や内容をお伝えしますので、ボランティアが可能かどうかお返事ください。

更新手続きのお願い

すでに登録いただいている個人と団体の皆さまも、4月から新様式での更新手続きが必要となります。窓口へお越しください。

現在加入しているボランティア保険も3月で補償期間満了となります。ご注意ください。

古典に学ぶ 一年新た、心新たに

豊泉 定二郎（中藤在住）

漢詩や古文書の古典から学ぶものは、いささか誇張して私的に言えば、知識の獲得、新たな発見、触発される学究心と好奇心の高揚です。

学生の頃に親しんだ、朱熹の『偶成』“少年老易く学成り難し……”、頼山陽の『川中島』“鞭聲肅肅 夜河を渡る……”、乃木季典の『凱旋』“皇師百萬 強虜を征す……”、などなどにいたく感銘を受けました。今も印象に残り、折々に懐旧しています。

昭和は遠くなり時代が変わっても古典は不易です。古典の意味するもの、また、示唆する言葉を大事に人生の伴侶として、座右銘としています。好きな語句を毛筆で色紙や条幅に書いて、作品に仕上げては楽しんでもあります。

年新た、心新たに「生涯学習」「一生青春」の気概を持って励み、実践するつもりです。「不言実行」乙未の抱負です。

偶成 朱熹
少年易老学難成
一寸光阴不可轻
未觉池塘春草梦
阶前梧叶已秋声

廃油をバイオディーゼル燃料に！

真鍋 翔子（学園在住）

廃油の回収を始めて3年ちょっと経ちました。東大和市のゴミレスクラブの人たちが、廃油の回収をやっていることを知り、活動日に何回か通っていろいろ教えていただきました。石鹸作りの原料となっていた廃油ですが、今は、環境に優しいバイオディーゼル燃料に生まれ変わります。

真鍋宅で取りまとめをしておりますので、油はフィルターで漉して、ペットボトルに入れてお持ちください。タンクが一杯になると回収会社（府中市 北斗運輸）が取りに来ます。当市でも廃油を燃えるごみに出すのではなく、リサイクルに回す人が増えれば、ごみの排出が少し減るでしょう。この活動に賛同し、リサイクルに向けて動いてくださる方が増えとうれしい限りです。

回収可能な油

菜種油・大豆油・コーン油・サラダ油・
ひまわり油・紅花油・ごま油



回収不可能な油

牛脂・ラード（豚油）・やし油・パーム油・
機械油・鉱物油

真鍋宅 学園4丁目 13-8（江戸街道の「村山医療センター南」の信号の近く）

廃油の受付 毎月第1水曜日、10:00～12:30（他の日をご希望の方は電話をください）

◆問い合わせ 真鍋 翔子 TEL・FAX 042-564-4433

スクエアダンス初心者講習会 踊りませんか

スクエアダンス・スワン

スクエアダンスは、軽快なカントリー & ウェスタン音楽に乗って、4カップル8人が手を取り合い、英語のコールにより、隊形を変化させながら歩いて踊る、アメリカ生まれのとても爽やかな、ウォーキングダンスです。老若男女ともに楽しめる世界共通のゲーム感覚の踊り、美容と健康のために楽しく踊りませんか。

- 日時 毎週土曜日 13:30～16:00
- 会場 緑が丘出張所会議室、緑が丘ふれあいセンター
(会場は日によってどちらかになります。お問い合わせください)
- 会費 無料
- 講師 (社) 日本フォークダンス連盟 公認指導者



▲ある日の練習風景です。

◆問い合わせ スクエアダンス・スワン TEL 042-566-1014 (大倉) 音楽にのって楽しめます。

教育相談 お気軽にご相談ください

東京都立村山特別支援学校

本校は、肢体不自由児の特別支援学校です。お子さんの就学・入学・転学についてのご相談、学習面・身体面・生活面についてのご相談などに応じています。

授業や校内の施設・設備の見学もできます。お気軽にご相談ください。

- 定期相談日 毎月第2火曜日 9:00～16:00
- その他随時 毎週月曜日～金曜日 9:00～16:00

◆問い合わせ 東京都立村山特別支援学校 TEL 042-564-2781
担当 特別支援担当 副校長またはコーディネーター



福祉の向上、自立支援促進に向けて

武蔵村山市障がい者(児)連絡協議会

武蔵村山市には、障がい当事者(児)の集まった団体、障がいのある子どもたちを守る親の団体などがあり、それぞれが個々に活動していました。しかし、各障がいの理解を深め、お互いに助け合う必要性を感じ、2013年4月に「武蔵村山市障がい者(児)連絡協議会」を立ち上げました。障がい者(児)の福祉の向上、自立支援促進に向けた活動を目指しています。

ご本人やご家族の方、ご相談がありましたら連絡ください。

【連携をとる団体】

- ・武蔵村山市身体障害者福祉協会
- ・武蔵村山市手をつなぐ親の会
- ・多摩野回復者互助会
- ・武蔵村山市聴覚障害者協会
- ・肢体不自由児者父母の会
- ・心身障がい者(児)親子の会フレンズ
- ・武蔵村山市精神障害者家族会 ころの会
- ・むらやまアイの会
- ・NPO法人すきっぴ
- ・きらり～発達障害と共に成長する家族の会～

◆問い合わせ 武蔵村山市障がい者(児)連絡協議会 TEL 042-563-4424 (森本)

目が不自由でお困りの方お電話ください

むらやまアイの会

武蔵村山市で唯一の視覚障がい者の団体です。当会は、会員の生活・福祉の向上を目指して、随時の情報提供、会員間の懇親などを行っています。

2か月に一度の定例会の他、カラオケやハイキング、ぶどう狩りバスツアーや見学会などで親睦を深めております。現在、目が不自由でお困りの方、まずはお電話をください。仲間と一緒に毎日を明るく、楽しくおしゃべりしながら過ごしましょう。入会金なし、年会費2,000円となります。

◆問い合わせ TEL 090-2934-1034 (梶原 勲)

助成金講座《入門編》

日本財団・和田さんに聞く

助成金申請採択の決め手

助成金チャレンジは GW がオススメ!!

- 最低限これだけは知っておきたい助成金の基礎
- こうすれば採択される申請のやり方
- 助成金をもらった、事業を行った、さてその次は……

助成金とは、融資とは異なり、返済の必要がない資金です。公益財団法人日本財団は、年間 500 件近い事業に助成を行っています。審査の際、重視すること、採択の決め手などをお聞きし学びます。助成金にチャレンジしてゲットし、来年度の活動をパワーアップしてみませんか！

- ◆日 時 3月14日(土) 13:00～16:00
- ◆場 所 ボランティア・市民活動センター会議室
(市民総合センター2階)
- ◆講 師 和田 真 氏 (日本財団)
- ◆参加費 500 円
- ◆定 員 20 名



和田 真 氏
プロフィール

1980 年新潟県妙高市生まれ。米国の大学・大学院への留学を経て、2005 年、日本財団に入会。海のグループにて、主にライフセーバーや海の環境を守る活動の審査を担当し、東日本大震災以降は東北地域の漁業支援や地域の復興支援事業も担当。

NPO・協働 個別無料相談

無料!!

NPO・協働 よろず相談

年度末……。総会を控えての決算準備や次年度の事業計画など、疑問や困りごとがありましたら、ご相談ください。必要な場合は、専門家を紹介します。

- ◆日 時 3月28日(土) 13:00～17:00
4月25日(土) 13:00～17:00
※上記日程でご都合の悪い方は別途ご相談ください。
- ◆場 所 ボランティア・市民活動センター 点字録音室 (市民総合センター2階)
- ◆相談員 ボランティア・市民活動センタースタッフ

【同時開催】

PC完全個別相談

- ◆要予約
- ◆60分 1,200 円

※Windows Vista、7 または 8 に限ります。

※あらかじめ、電話・ファックス・メールで相談内容の概略をお知らせください。

【申し込み・問い合わせ】

ボランティア・市民活動センター (市民総合センター2階)

T E L : 042- 590 -1430 F A X : 042- 590 -1436

Eメール : v.shimin@musashimurayama.org ホームページ : <http://musashimurayama.org>

Book

書籍紹介



出版社 家の光協会
発行 2013.10.25
サイズ 単行本 160 頁
定価 1,296 円 (税込)
ISBN コード
978-4259547479

『人が集まるチラシの作り方』

坂田 静香 著

著者は、2003 年、太田区の男女平等推進センター「エセナおおた」で、講座の企画運営を担当。当初の企画講座のほとんどが定員割れだったため、その原因を徹底的に分析。その後の講座は毎回定員オーバー、平均申し込み率は 300 名を超えるようになり、カリスマプランナーと呼ばれる。現在このテーマで年間 150 か所以上の講演に飛び回る毎日。

10 年間の“集客できる企画のコツや手にとってもらえるチラシづくり”のエッセンスが詰まった、企画・チラシ担当者必携の書。

予告 1



数々の講座を定員オーバーにしてきた
カリスマプランナー

坂田静香さんがやってくる!

5月28日(木)

(申し込み方法その他、詳細については、次号でお知らせします)

予告 2

参加者募集!!

この指とまれ!!

集い 語る

100人会議
<モノレール編>

日程が
決まりました!
詳細は追ってお知らせします。

東京で唯一電車のない「武蔵村山市」。新青梅街道の拡幅工事の進む中、多摩都市モノレールの延伸がいよいよ現実味を帯びてきました。武蔵村山市の未来を語る 100 人会議第 2 弾は、モノレールが延伸することで、私たちの生活がどう変わるのかを集い語ります。

5月17日(日) 14:00~

会場：ボランティア・市民活動センター (市民総合センター)

主催：武蔵村山市 ボランティア・市民活動センター
共催：モノレールを呼ぼう! 市民の会
協力：日本モノレール協会



災害時ボランティア支援活動協定締結

2014年12月16日、むさしむらやま子ども劇場（ボランティア・市民活動センター指定管理者）は、武蔵村山市、社会福祉協議会と「災害時におけるボランティア支援活動に関する協定」を締結しました。

この協定は、市内で大規模な災害が発生し、または発生する恐れがある場合に、災害ボランティアセンターの設置、運営、活動内容、訓練の実施などについて定めたものであり、災害時におけるボランティア支援活動を円滑に行えるようにするためのものです。



ラミネーター貸し出し始めました

光沢や質感がアップし、長期保存も可能となるラミネート加工ができます。フィルムの販売は下記の値段です。

- ・A4 フィルム 1枚 20円
- ・A3 フィルム 1枚 40円

フィルム（厚さ100ミクロン推奨）を持ち込みでの利用は無料です。
ご利用ください。



3月

4月

● 休館日

【3月・4月の休館日】

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

今号の表紙

「きれい……」インタビューした小学生の女の子がつぶやきました。『アナと雪の女王』の主題歌「Let It Go」がハンドベルの音色となって、イオンモールのセンターコートに流れます。写真は、12月20日（土）午後に行われた「ハンドベルてんし TENS」によるクリスマスコンサートの様子です。モール内を行き交う人々の足が止まり、その数100人余りに至るひと時もありました。

音程によってベルの大きさや重さが少しずつ違うとのこと、一人で複数のベルを担当し鳴らします。チームワークが大切な奥の深い楽器、ハンドベルの澄んだ優しい音色がここに染める一刻でした。

編集後記

2～3頁掲載の協働は「まちづくり」につながっています。住みやすく、暮らしやすいまちに……とは誰もが望むことかと思います。協働は、そんなまちにしていけるための手法です。次号以降も「協働」に関する様々なニュースを“協働かわらばんシリーズ”としてお伝えしてまいります。協働についての疑問などありましたら、センターまでお問い合わせください。

今号には、「ボランティア登録用紙」を入れてあります。ご自分のできること、活動可能な時間帯などを登録してみませんか。

2月19日は「雨水（うすい）」、陽気が地上に発し、雪氷が融けるとされています。春はそこまできています。（瀬川）

武蔵村山市 ボランティア・市民活動センター広報紙『コラボ・バ』No.6（通巻109号）

2015年2月20日発行（発行部数30,000部）

編集・発行 武蔵村山市 ボランティア・市民活動センター（指定管理者：NPO法人むさしむらやま子ども劇場）

〒208-8503 東京都武蔵村山市学園4丁目5-1 武蔵村山市民総合センター2階

TEL：042-590-1430 FAX：042-590-1436

Eメール：v.shimin@musashimurayama.org ホームページ：http://musashimurayama.org

NPO法人武蔵村山ひまわり

就労継続支援B型事業所ひまわりハウス
共同生活援助ひまわりホーム

～ひまわりハウスのテーマ～

ゆたかな労働と
生活の場をめざして！

〒208-0034 武蔵村山市残堀1-28-3 TEL・FAX 042-569-3087
E-mail：himawarihouse@cyber.ocn.ne.jp
URL：http://www.himawarihouse.org/

広告募集 !!

- ◆スペース 1枠4cm×8.5cm
 - ◆料金 市民活動団体 5,000円
商店・企業 10,000円
 - ◆申し込み まずは、お電話をください。ご説明や原稿などの打ち合わせをさせていただきます。
- ※特定の政党・宗教に係わるもの、公序良俗に反するものは掲載できませんのでご了承ください。

『コラボ・バ』は、年6回偶数月に発行、市内全戸に配布しています。